

「訓練」終了しました！



10/8 郡市総合防災訓練

ひがし村より

東成瀬村

higashinamura

令和8年10月20日発行

No.227



議会フロアはこちら

令和7年度決算を認定… 4
管外視察レポート …… 12
～移住の町と星空の村～

すべての議案を 同意・可決・認定

9月定例会議は、9月1日から16日までの16日間の審議期間で開催されました。

報告3件、人事案2件、条例案1件、予算案6件、決算認定7件の合計19件を審議。議員派遣を含むすべての議案を、原案のとおり同意・可決・認定しました。

2日目には一般質問が行われ、2議員が登壇し村政を質しました。

また、3日目には議会改革特別委員会の委員長報告がありました。



議会改革特別委員長が、9月16日の本会議で最終報告を行いました。

諸帳簿・証拠書類に問題なし

決算監査報告

審査に付された各会計における決算、基金の運用状況を示す書類は、計数に誤りがなく、各基金の管理についても適正であると認められた。

維持経費についても必要に応じて見直し、經常経費の削減に努めていただきたい。

特別会計においては、実質収支は全会計とも黒字となっているが、単年度収支で見ると、国民健康保険特別会計（事業勘定）以外のすべての会計が赤字となっている。赤字解消に向けた財務体質の強化を図り、村財政の圧迫要因とならないよう、適正な運営を望む。

【審査意見】
歳入においては、村税等の滞納繰越額は増加傾向で、不納欠損処分も行われており、村財源の確保と税負担の公平性の観点から、引き続き積極的な収納対策に努めていただきたい。

一般会計の歳出においては、住民生活の維持、公共施設等の維持管理を念頭に、既存事業や各種

公営企業会計においては、独立採算制の基本原則を踏まえ、適正な受益者負担の確保を図り、収支均衡に努め、事業の持

続可能性や透明性が向上し、住民サービスに寄与されることを期待する。

職員においても村政全般の状況を理解共有し、社会情勢の変化に的確に対応し、今後も持続可能な行財政運営に努め、英知を結集し邁進される事を期待する。

令和6年度の元職員による公有物窃取の不祥事については、令和7年度に損害額を確定、一部弁済がなされている。早期の弁済完了に向け、求償事務体制の強化と再発防止策を徹底し、村民の信頼回復に努められるよう望む。

監査委員

富田 幸市
佐藤 仁

9月定例会議

人事

議会の同意を必要とし、任期満了となる教育委員の人事案件が提出され、賛成多数で同意しました。

教育委員

佐々木 一 二氏（岩井川）【再任】



小野寺 藤美氏
（椿台）【新任】

（任期）令和8年10月1日から
令和12年9月30日まで

主な条例

○定住住宅条例の一部改正

・寄附の申出があった住宅（平良地区）を、東成瀬村定住住宅として活用するため、所要の改正を行うもの。

9月定例会議議決事項一覧

令和7年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
秋田栗駒リゾート株式会社の経営状況を説明する書類の提出について
専決処分報告について ※令和8年度一般会計補正予算（第4号）
教育委員会委員の選任について（佐々木 一二）
教育委員会委員の選任について（小野寺 藤美）
定住住宅条例の一部を改正する条例について
令和8年度一般会計補正予算（第5号）
令和8年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）
令和8年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）補正予算（第1号）
令和8年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
令和8年度介護保険特別会計補正予算（第2号）
令和8年度下水道事業会計補正予算（第1号）
令和7年度一般会計歳入歳出決算認定について
令和7年度国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算認定について
令和7年度国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）歳入歳出決算認定について
令和7年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
令和7年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
令和7年度簡易水道事業会計決算認定について
令和7年度下水道事業会計決算認定について
議員の派遣について

令和8年度一般会計補正予算（第5号）の主なもの

歳入	
○村税	
個人人民税増	953万円
固定資産税増	886万円
○地方交付税	
普通交付税増	1億6649万円
○使用料及び手数料	
過年度分村営住宅使用料	188万円
○県支出金	
指定管理鳥獣対策事業交付金	240万円
○繰越金	
前年度繰越金増	8414万円
○諸収入	
子どものための教育・保育給付費国庫負担金精算金（令和7年度分）	127万円
秋田県消防操法大会助成金	40万円
○村債	
過疎対策事業債増	160万円
緊急自然災害防止対策事業債	890万円

歳出	
○総務費	
会計年度任用職員人件費追加（1名分）	260万円
原石山整備基本計画策定業務委託料	100万円
○民生費	
障害者自立支援給付費国庫負担金返還金	438万円
保育所等物価高騰対策事業費補助金	22万円
○衛生費	
下水道事業会計負担金追加	265万円
○農林水産業費	
設計等委託料追加（五里台地区農業用水路）	200万円
指定管理鳥獣対策事業	200万円
ジビエ解体処理施設改修事業	330万円
○商工費	
光熱水費追加（食肉加工センター）	65万円
修繕料追加（栗駒山荘ボイラー・客室トイレ・スキー場除雪機）	446万円
本工事費追加（プラン照明設備・ジュネスワン厨房設備）	260万円
観光未来戦略プロジェクト推進協議会補助金	110万円
○土木費	
修繕料追加（大雨の応急対応分）	100万円
修繕料追加（村道三又岩井川線ほか散水施設）	206万円
設計等委託料（合居川護岸改修）	100万円
本工事費（合居川護岸改修工事）	800万円
○消防費	
県消防操法大会経費	72万円
○教育費	
地域活性化推進事業補助金（全日本スキー選手権大会スノーボード競技）	110万円
○諸支出金	
財政調整基金積立金追加	2億100万円
減債基金積立金追加	2200万円
公共施設等総合管理基金積立金追加	1985万円
○予備費	
予備費追加	53万円

welcome

次回定例会議は、
12月上旬開会の予定！

行ってみようか。

傍聴！

会議はどなたでも
傍聴できます！
詳しくは、議会事務局まで
お問い合わせください。

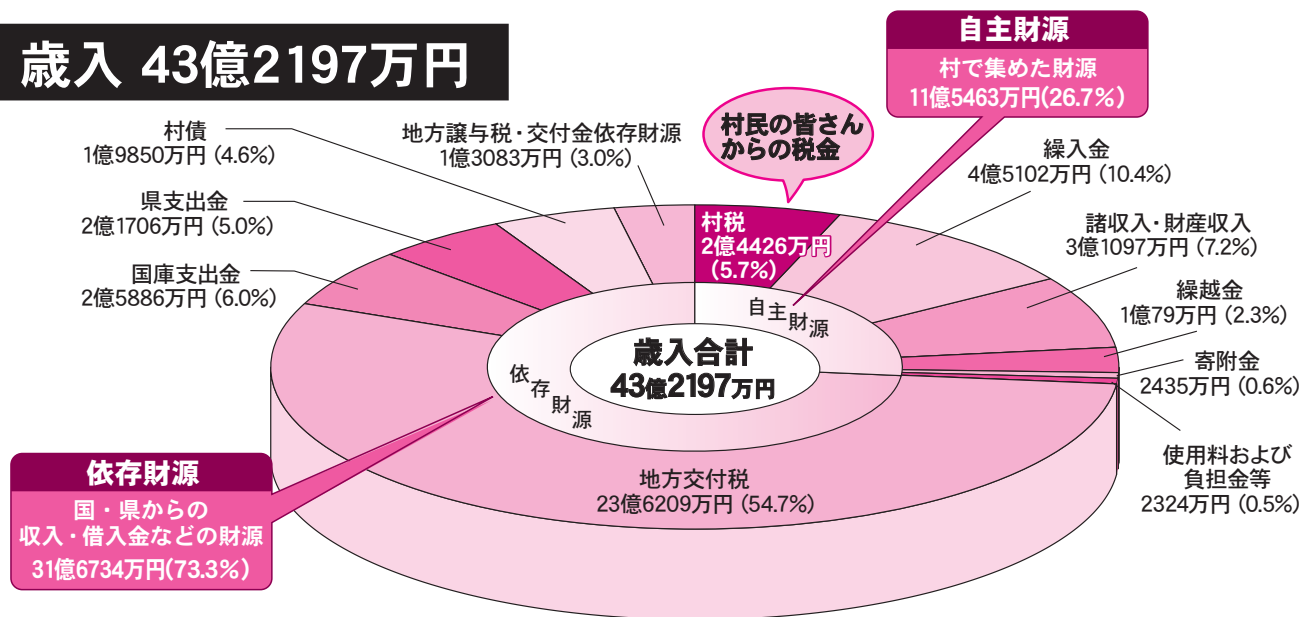
お見のがしなく！



会計決算

9月定例会議

歳入 43億2197万円



村民1人あたり 約194.3万円

一般会計のなかみ

1年間で、村民1人あたり
このように使われました

総務費
49.8万円



諸支出金(貯金)
29.1万円



公債費(借金)
22.4万円



民生費
21.3万円



衛生費
16.5万円



土木費
13.6万円



教育費
13.3万円



農林水産業費
8.5万円



商工費
8.1万円



消防費
7.5万円



議会費
2.8万円



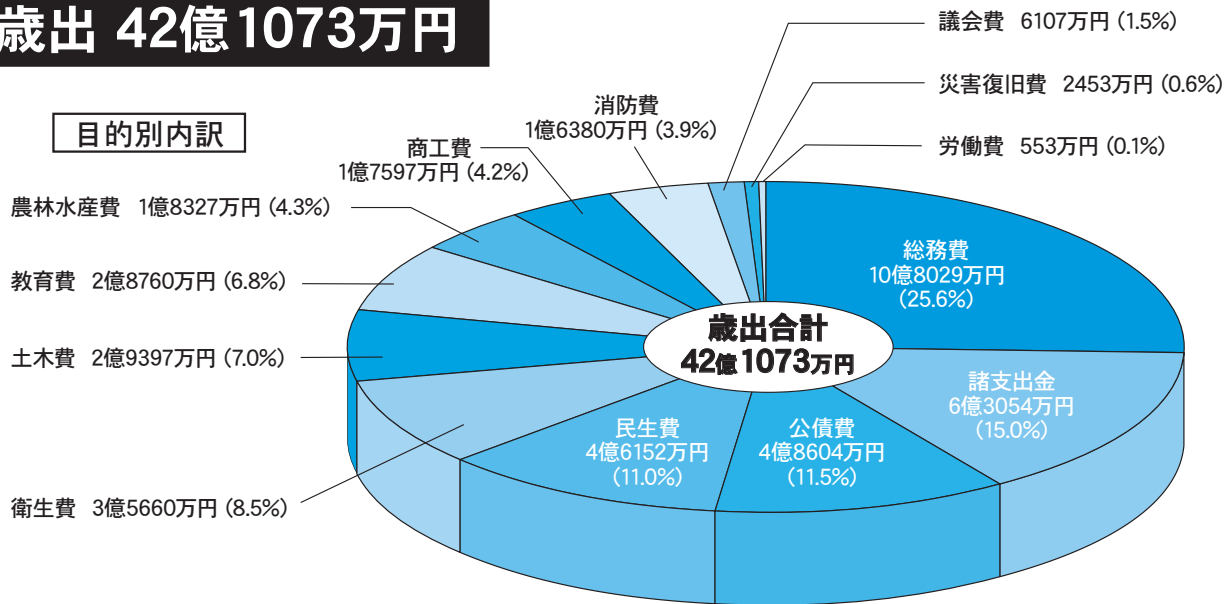
災害復旧費・労働費
1.4万円



(令和8年3月末日の人口2167人) ※端数処理の関係で上記の合計とは一致しないことがあります。

令和7年度 一般

歳出 42億1073万円



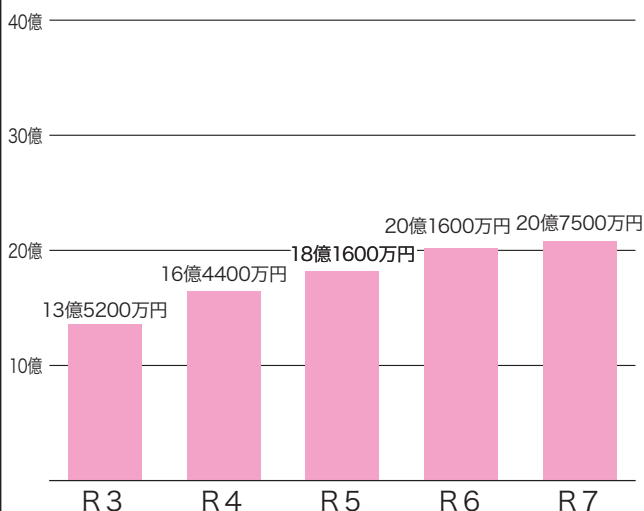
■各会計の決算額

会 計 名		歳 入 (収入)	歳 出 (支出)	差し引き	収入未済額
一 般 会 計		43億2197万円	42億1073万円	1億1124万円	8079万円
特 別 会 計	国民健康保険(事業勘定)	2億1561万円	2億310万円	1251万円	203万円
	国民健康保険(直営施設勘定)	8965万円	8565万円	400万円	1942万円
	後期高齢者医療	3744万円	3571万円	173万円	1万円
	介護保険	3億9480万円	3億8169万円	1311万円	13万円

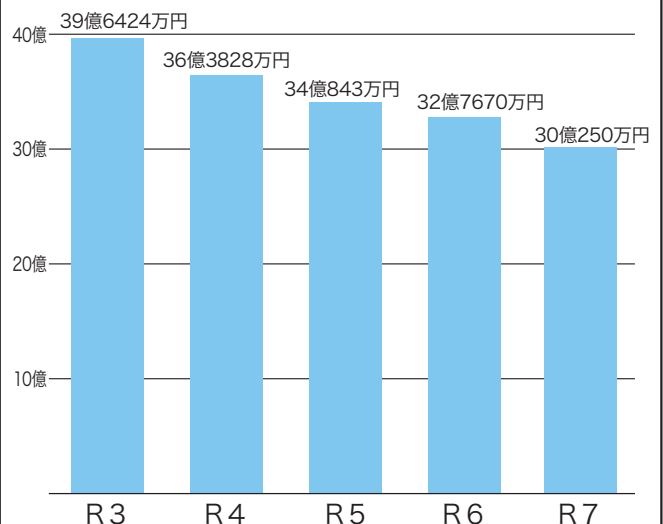
会 計 名		決 算 額			
		収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
公営企業会計	簡易水道事業	1億7702万円	1億7475万円	6586万円	1億2972万円
	下水道事業	8788万円	9145万円	463万円	2174万円

※金額は表示単位未満を四捨五入しています。

財政調整基金(貯金)の推移



地方債(借金)借入残高の推移



令和7年度決算審査

一般会計

財産・基金

寄付金等への対応は

質問 下田の宅地と原野の取得について今後の使用予定を聞く。寄付等については計画性をもって対応すべきと考えるが。

答弁 亡くなった方の遺族からの寄付で、現時点での使用予定はないが、利用法があれば活用していきたい。また、全ての寄付を受ける訳ではなく検討・協議の上で決定している。

基金の運用先は

質問 運用先決定はどのようなしているのか。

答弁 公金管理委員会により

有利なものと見積もりを取って運用先を決定している。

歳入

村民税の未収対策は

質問 不納欠損、収入未済額が近年増えているが。

答弁 成瀬ダム従事者の外国人のうち、国外に転出した者に対して納付書発行や督促が困難であることが要因。これは本村だけでなく日本全体の問題であり、特殊財政事情として総務省に陳情していく。

その他の滞納者については、数は多くないが同じ人の滞納が見られる。督促、面会、電話等で粘り強く対応していく。

歳出

【総務費】
地域おこし協力隊

質問 子どもを持った地域おこし協力隊の方が村を離れると聞くがどうだろうか。また、定住率はどれくらいか。

答弁 現在、任期満了されて子どものいる方は2名いる。退職後離村された中にも子どもをもった方々もいた。離村理由は家庭の事情や仕事関係と伺っている。定住率は2割程度と厳しい。個別に話を聞き相談のフォローアップも行い引き上げを目指している。

集落支援員

質問 集落支援員が辞めてしまったが理由は。また、新

たな募集状況は。

答弁 課題解決に向けた取り組みも意欲的にやっていたが、体調面の問題で退職された。来年度に向けて新たに募集を行いたい。やはり、村内で精通した方が適任と考えるので村内に向けても広く募集出来るようにと考える。

公有林の保有量

質問 推定蓄積量でなく、正確な数量を出す予定、計画はないのか。

答弁 村で保有する森林の面積はかなりの量があり、全体調査は現時点で計画がない。また、実際に近くなるよう設計方法等を検討していく。

【衛生費】

がん検診の受診推奨は

質問 5大がん検診の精密検査未受診者に対する受診勧奨の具体的な進め方は。

答弁 精密検査結果の返送時に受診勧奨を行い、12月、1月に再度受診状況を確認して通知を送付。前年度未受診者にも通知し、2年連続未受診者には付せん等での旨を一緒に通知している。



田子内地区総合検診（受付）

応援団報償費

質問 交流人口の更なる拡大に向け、本制度を検討するところがあるが。

答弁 応援団の登録者数は9,211人となっているが、登録更新がない状態で積み重ねた数字で、実際と乖離する部分がある。今検討しているのは、デジタル化を図り、村の公式LINEから新たに登録すること。こちらからの情報を発信でき、利用者が何処から来て、どこで利用しているのか分析でき、今後検討できる材料になる。

質問 270万円近くかけているが、村全体の影響額がどの程度になるのか。

答弁 推計値は出していない。利用した269万5600円は各施設の利用料の一部となっており、これだけ施設を利用いただいていると考える。

質問 登録料をもらうような考えはないか。

答弁 登録料は現在いただいていないし、いただいて登録してもらうのは難しいと思う。ふるさと納税に繋がれるように制度上考えていきたい。

地域おこし協力隊事業等補助金

質問 200万円の補助金を使って今現在、どのように仕事をしているのか。

答弁 2名の方に交付してる。内野さんには、ドーナツ販売の起業のための車両整備に對して交付している。長瀬さんはユーチューバーとしての活動から、映像作品関係の事業主として起業。必要な機材一式に補助金として100万円交付している。

【民生費】 敬老会

質問 参加率27・6%は妥当な数字と思うか。働きかけをすべきでは。

答弁 今年の参加率は少し伸びてきている状況。地域づくり協議会の代表たちの意見を聞き、今年もジュネスワンでの開催とした。アンケートや部落長の意見を聞き次年度に向け検討したい。



田子内地区 敬老会

特別会計

国保事業勘定 特別会計決算

高額医療の病名は

質問 高額医療の主な病名の割合は。

答弁 医療費割合は、第1位が精神疾患、第2位が骨折、筋肉等の疾患、第3位ががんととなっている。

後期高齢者医療 特別会計決算

質問 収入未済額の要因と回収見込みは。

答弁 既に収納済み。5月の出納閉鎖期間内に納付されていたが、コンビニでの支払いで、こちらに収入データがくるまでに時間がかかるため未済扱いとなってしまった。

介護保険 特別会計決算

保険料未納の要因

質問 不納欠損額と収入未済額の要因は。住民から保険料が上がっている感覚があり、年金から引かれ手元に残る金額が低く厳しいと聞かれるが。

答弁 不能欠損額は一人の方と連絡が取れず督促をお願いしたが入らなかった。収入未済額はこの方と納付忘れの方もいるので収納してもらうよう努めたい。保険料は前期と同じ額だが、村の現状を理解していただき次期計画に向け住民アンケートを取り状況を勘案し適切な保険料を定めたい。



キャンプ場に関する提案と課題

村長 村直営施設化を目指す

質問 須川湖キャンプ場の知名度を上げ、人気スポットにするための提案と課題を挙げる。

- ① 現在利用可能なボートは2艘のみ。更なる導入・修理を。
- ② イベント開催や物品販売、サウナ営業等を可能にするべく、県に要請を。
- ③ 飲料水の塩素消毒装置やキャンプサイトのデッキの早急な修理を。
- ④ 駐車場の立ち枯れブナは危険なので伐採を。
- ⑤ 栗駒山荘の宿泊客にもっとキャンプ場や周辺の景勝地（イワカガミ湿原・野鳥の森・泥炭地等）を紹介し、相乗効果を生み出せないか。
- ⑥ キャンプ場周辺での星空観察会はできないか。
- ⑦ 村職員はもっと足繫く須川方面に向いて、状況把握に努めるべき。

村長 ①～④については、一括して答弁する。須川湖キャンプ場は、私自身の思い出も詰まった、重要な観光拠点だ。再整備や物販の規制緩和を県に例年お願いしている。国から直接借り受けて村直営施設として再整備や多様な営業を目指したい。

⑤の「相乗効果」については、山荘・キャンプ場の双方にパンフを配置しており、営業姿勢に関して関係者と協議している。

⑥については、有力な観光資源として商品開発やガイド養成など提案していきたい。

⑦については、各課に所管施設の定期的な巡回を指示している。

質問 サップの数も増やせるのではないか。（営業行為も）県の許可をとれば可能はず。塩素消毒装置の修理は即急にやるべき。

あの一帯は村が誇るべき観光スポットが集中しており、連携することで栗駒山荘の集客も伸ばせるので力を入れてもらいたい。

星空の美しさを活用して観光客の大量動員に成功している長野県阿智村のようなことはわが村でも可能だ。

キャンプ場管理者の3名の雇用隊員はやる気もアイデアもあるので、ぜひ失望させず活かしてほしい。

村長 サップ等の湖面利用は、営利を伴えば制限がかかる。県の許可もなかなか進まないもので、やはり村直営とした方が自由の幅が利く。

あの水道施設は水質検査の結果、飲料水には適さないので利用制限している。

山荘の月1回の自然観察会等を拡大していけば魅力を伝えることができるのでは。登山道も再開したので、宣伝しつつ自然観察会や登山を進めていきたい。

星空は素晴らしい観光資源。どのような施設整備、ソフト事業、ツアーができるか、観光未来プロジェクトの議題でもあるので進めていきたい。

所管の施設には月一回と言わず、パトロールも兼ねて行き、利用者の意見も聞くように指導したい。



須川湖

その他の質問

○農業振興を活かした移住促進策について

いせや かつ み
伊勢谷 勝 美 議員



総合力で「稼ぐ観光」を

村長 観光未来プロジェクトを核に推進

質問 成瀬ダム完成という大きな節目を迎えるにあたり、観光振興に本気で力を入れていくべき時が来ているのではないか。一過性のイベントで終わらせるのではなく、中長期的な地域活性化へ繋げて行くべきと考え、次の3点について伺う。

①観光客の動向や消費状況の把握や分析、稼ぐ観光をどのように推進していくのか。

②観光資源の磨き上げと情報発信・受け入れ体制は。

③住民生活との調和と関係団体との連携・持続可能な観光地作りを。

村長 ①観光客の動向は県の入込客統計で把握し、消費動向は把握していない。稼ぐ観光としては、今後は、宿泊、飲食、物産、体験、自然、成瀬ダム、こうしたものを全部組み合わせる一つの観光商品として提供し、滞在時間を延ばし、村内での消費を促す取

り組みが必要。見る観光から体験して消費していただく観光への転換を図る必要がある。観光未来プロジェクトを核として、本村ならではの観光商品の造成や情報発信、販売方法について、検討し観光を地域経済に繋げる仕組みづくりを進めたい。

②有識者からのアドバイスを受けながら進めるのがベストと考え、観光未来プロジェクトを設立した。地域に眠る人材や地域資源を発掘、磨き上げ、観光を通じて交流人口、関係人口を増やし、地域経済の活性化を目指す。人材育成と新たな組織体制の整備も視野に入れ、情報発信や受入体制の整備に取り組んでいく。

③オーバーツーリズムへの対応も念頭に置き、観光産業を支えている関係者との情報共有、意見交換を深め地域への影響を把握しながら必要な対策を検討していく。行政だ

けで取り組むものではなく、観光物産協会、宿泊、飲食事業者、農林業関係者、地域づくり団体、地域住民それぞれの立場で関わり、地域全体で観光を支えていく体制づくりと、新たな組織を核とした連携体制も視野に入れ取り組んでいく。

質問 司令塔・観光未来プロジェクトの組織体制は。

村長 プロジェクトチームのメンバーは、実際に村の中で一生懸命頑張っている方々にお願いしている。司令塔は、私というか村。村が主体的に関わり、役場職員が大きく関わっていく必要がある。若い職員が一心同体のような感じでこのプロジェクトを進めていくことになる。最終的には東成瀬村振興公社とか大きな組織体が立ち上がるのが理想。

質問 地域外からの関係人口の拡大と地域で稼げる環境を生かし、成瀬ダム完成を見据

えた持続可能な観光振興と地域活性化を力強く進めていただきたいが、村長の決意は何かか。

村長 観光未来プロジェクトで話し合い、実践して、どんな稼ぐ観光を作りたい。必ず成功させて、地域に利益をもたらしたい。



ダム展望台での物産販売会のようす

✓厳しくチェック!

課題解決につながる予算か

令和8年度一般会計補正予算
(第5号)

観光未来プロジェクト

質問 予算110万円の具体的な使途は。ダム周辺整備の協議会との関係は。

答弁 村内事業者からのヒアリング、調整等を観光物産協会・なるテックを中心に行う事業で、アドバイザーは総務省の地域力創造アドバイザーの篠原教授。官公庁に申請している総事業費が600万円、助成金500万円での不足分から110万円の計上とした。

ダム周辺整備の協議会とは多少ダブる部分もあるが全く別の組織。

ジビエ解体処理施設改修事業

質問 有害鳥獣はいつも捕れるわけでは無いが常駐するのか。

答弁 常に稼働するのではなく、捕獲した場合に処分対策として活用する施設と考えている。

質問 解体した肉の処理で、肉4割、捨てる部分6割も有ると聞く。捨てる処理の仕方をどうするのか。

答弁 産廃という形で処分しなければならぬと考える。他町村の例でも処理施設から出た廃棄物については、焼却処分等している状況である。

質問 他の市町村の人が利用したい場合、管理は誰がし、どのようにして借りられるのか。

答弁 解体処分であれば、制限はないと思うが、食肉活用となれば許可・資格等が必要で自由に使うのは難しいと考える。管理は猟友会と調整中。軌道に乗るまでは、村で一旦受けながらやっていきたい。

質問 稼働の用途は。

答弁 秋の捕獲ができる前に完成予定だったが、整備しなければならぬところがあり、今回追加で補正した。なるべく早く完成させたい。

食肉加工センターの光熱水費

質問 65万円の算定根拠と利用状況は。

答弁 村内企業2社から利用申し出あり、1社はなるテックから酒の保管と蜂蜜製造の方から特産品の開発等で活用の申し出があった。主に電気料が増える見込みとなり補正計上した。増加分は2社に負担していただく。



地方債

質問 地方債の割合が4.6%となっている。村財政に對して適正なのか。

答弁 依存度を下げ3%くらいまで落としたい。交付税が伸びていく状況の中で財政健全化を進め次世代に受け渡す蓄えをしたい。

令和8年度国保特別会(事業勘定)
補正予算(第1号)

国保税

質問 現年度医療分が増え他の項目が減った理由は。

答弁 医療給付分の現年度課税の増加は米価が上昇し農業所得が増えたことによる。他の項目の変化は県から来た数字との調整で減額となっている。

これでおでかけも安心!

チャイルドシート

購入費助成事業

平成27年から始まったこの事業。令和元年に利用者が途絶え、翌年から予算計上がなくなっていました。今年度に要望があり、6月補正予算で久々に復活!

申請した佐々木健太さん・春菜さんご夫妻にお話を伺いました。

この事業をどうで知りましたか?

「チャイルドシートへの助成が広く全国にあることをネットで知って、村のホームページを見たら申請の様式が出てきたので、プリントアウトして健康福祉課に持って行きました。」



おうは 鳳羽ちゃんはまだ生後6カ月とのことですが、毎日大変では?

「でも夫婦二人で協力してかわりばんこに面倒を見るようにしているの、何とか大丈夫です!」

東成瀬村は子育て支援が充実していると言われますが、

「そうですね。おむつへの半額助成とか、本当に助かります。かなり消費するものなので、出生祝い金もいただきましたし。」

村に要望したいことは?

「大きくなってからのジュニアシートにも助成があれば…。それにちよっと休憩して子供を遊ばせておけるスペースが近くに欲しいですね。」



佐々木健太さん・春菜さん・鳳羽ちゃん (菅生田)

「二人とも通勤時間が長いので保育園の送迎がギリギリになりそう」と少し心配顔。でも鳳羽ちゃんのために力を合わせようという決意と、幸せなムードにあふれる素敵なお夫婦でした。

ようこそ!

行政視察研修



10月6日、宮崎県木城町議会からの視察訪問の受入れを行いました。

研修内容は、小学校視察、教育行政、地域づくり事業協同組合など、多岐に渡る内容となりました。

この研修が、皆さんにとって実りあるものになることを祈念します。



小学校視察



地域づくり事業協同組合 尾形代表理事から説明

「人が人を呼ぶ移住」 (岐阜県白川町)

総務教育民生常任委員会

白川町の概要

岐阜県白川町は、面積の約9割を森林が占める山間部の町で人口が約7000人。昼夜の寒暖差を生かした「白川茶」や「東濃ひのき」の産地である。特に有機農業を通じて地域づくりに積極的で、「オーガニックビレッジ宣言」を掲げる。NPO法人等の支援のもと、新規就農者の受け入れや研修施設整備を進め、多くの若者や家族連れが有機農業を目指して移住している。移住交流サポートセンターや空き家バンク、農園付きお試し住宅などの環境も整い、持続可能なスローライフ



古民家を改修 サポートセンター内

白川町の取り組み

フの拠点として注目されている。

白川町は消滅可能性自治体評価を機に、空き家バンクや体験住宅整備を開始。サポートセンターを拠点に、移住者数を追うのではなく定住の「質」を重視し、不便さも正直に伝える丁寧な相談で「人が人を呼ぶ移住」を推進。関係機関の緊密な情報共有や受け入れ地域側の習慣改革、通学を支える公共交通整備なども一体的に進め、長く暮らせる環境を整えている。

白川町の移住交流サポートセンターの運営における自主財源の仕組みは、行政からの助成だけに依存せず、自ら提供する施設や住宅事業の運営によって収入を得る仕組みになっており、主に農園付きコテージの運営や宿泊事業（里山ゲストハウス「晴耕雨読とみだ」などの運営）、サブリース住宅

視察をして感じたこと



事業から収入を得ている。



サポートセンターの職員と一緒に

白川町の視察を通じて、移住政策は単なる人口増対策ではなく、仕事や交通、地域活動など暮らし全体を見直す取り組みであると実感した。特に、空き家バンク、体験滞在、仕事紹介、移住後支援を一つの流れに結びつけている点が参考になった。この「人が人を呼ぶ移住」は、相談者に正直に向き合う担当者の存在や関係機関の緊密な連携に加え、消防

先進地
事例を見て、
聞いて!

管外視察

「星空を観光の力に」 (長野県阿智村)

産業建設常任委員会

長野県南西部に位置する阿智村は、人口約5800人で豊かな自然と星空の美しさで全国的に知られる村である。環境省の全国星空継続観察で「星が最も輝いて見える場所」1位に選ばれた実績を持ち、「日本一の星空」を掲げた地域ブランド化を推進。ナイトツアーや星空鑑賞イベントを展開し、年間を通じた観光拠点となっている。

阿智村の概要



観光拠点施設「ACHI BASE」



星空郵便ポスト

阿智村は「日本一の星空」という地域資源を、ゴンドラ、温泉、宿泊、演出などと結びつけ、宿泊を伴う魅力的な体験型旅行商品へと変革させていた。消灯カウントダウンや悪天候時の代替プログラムなど、顧客の体験価値を高める細やかな工夫を凝らしていた。この取り組みを支えるのが、行政と民間の明確な役割分担である。専門組織や民間事業者が主導して企画・ツアー運営を担う一方、行政は日常の運営費を補助するのではなく、チケットの予約

阿智村の取り組み

また、南信州最大の温泉街「昼神温泉」を有し、美容効果の高い美肌の湯として人気を集める。春には約1万本の花桃が咲き誇る「花桃の里」が桃源郷のような絶景を作り出し、豊かな自然観光資源と温泉文化が融合した独自の地域づくりを展開している。

システム整備費を補助するなど、民間が自立して運営するための仕組みづくりに特化して支援している。ツアーの急成長に伴い、運行音や交通渋滞などの観光公害（オーバーツーリズム）が住民生活の負担となったが、村は「量から質」へと舵を切り、完全予約制を導入して来訪者を最大2500人に制限することで、観光客の体験の質向上と住民の暮らしの維持を両立させている。



村長（中央）と議場で

視察をして感じたこと

視察で最も重要だと感じたのは、地域資源を旅行商品へと変える仕組みの構築である。民間が企画・運営の主役を担い、行政は仕組みづくりや自立支援に徹する体制が機能していた。

当村にも外から見れば価値のある地域資源がたくさんある。地域資源を見つければ、物語を与え、民間の知恵と意欲によって磨き、宿泊や飲食、交通、体験と結びつける仕組みづくりが、今後の観光・産業政策を考える上では大変重要であると感じた。

郵便ポストや婚姻届、ナンバープレートにも星のデザインを取り入れたり、村内の家族が一緒に星を鑑賞する時間を設けるなど、教育や家族の時間にも生かしている、村一体のプロモーションの重要性も参考になった。



竹あかり

調査報告書を作成

令和6年9月の定例会議で議会改革の推進を図るため、特別委員会として設置された議会改革特別委員会は、14回の会議を重ね、検討項目5項目において調査してきました。

9月11日に、議長へ提出された最終の議会改革特別委員会の調査報告書について、次のとおり本会議最終日に報告されました。

- ①一般質問は、一括質問方式から分割質問方式へ。
- ②情報発信（動画配信・広報）は、本会議の一般質問について録画配信を可とし、広報については、内容と編集体制を見直す編集方針を策定。
- ③適正な議員報酬の調査は、現状維持に決定。
- ④適正な議員定数の調査は、現状維持に決定。
- ⑤デジタル化については、タブレット端末の導入を可とした。



一般質問を録画



調査報告書はこちら
からご覧ください

この最終報告をもつて、議会改革特別委員会の活動は終了となりますが、今後においても、委員会での調査・研究の成果を踏まえ、新たな課題や改革項目について継続して検討を行い、住民に開かれ、時代を担う人材が参画しやすい議会づくりに取り組んでいきます。議会として住民の負託に応え、地域の発展と住民福祉の向上に資する、より充実した議会運営を目指してまいります。

9月11日

議会改革特別委員会

この学びを糧に！

県内町村議会議員を対象に議員研修会が開催され、9名の議員が参加しました。

研修会は、明治大学政治経済学部講師で元全国市議会議長会法制参事の廣瀬氏による「適正な議員定数の決定手法を考える」と、

東京大学大学院特任教授・名誉教授の鈴木氏による「日本の米政策について」の講演会でありまし

町村議会議員研修会

7月30日

た。今年度の研修からタブレットがある町村議会についてはタブレットを活用し研修を受講しました。

町村議会広報研修会

9月25日

広報対策特別委員会を含む9名の議員が参加しました。

ター芳野政明氏による講義とクリニックは、「読みやすい」だけにとどまらず「住民自治を推進する」議会だより作りを目指す興味深い内容で、本村の広報編集にとつても新たなアイデアや改善の余地を再認識させてくれました。

自治を推進する「議会だより」に



芳野氏



廣瀬氏

鈴木氏

栗駒リゾートの経営は？



秋田栗駒リゾート(株)の経営状況について報告を受けました。

8月に栗駒山荘で食中毒が発生させたことや最繁忙期の悪天候、雪不足、原材料価格の高騰のあたりを受け、各部門とも前年の業績を下回る結果となったことなどが報告されました。また令和8年度の事業計画と方針が示されました。

7月29日
議会
全員協議会



第8回村職員による公有物窃取事件調査特別委員会が開催され、当局の報告を受けました。

損害賠償請求事務を進めるための「不祥事案損害賠償等請求委員会」の設置や再発防止の取り組みについて説明があり、委員から質問、意見、要望が活発に出されました。

8月27日
職員による
公有物窃取事件
調査特別委員会

求償事務の委員会を設置

様々な災害を想定

湯沢市雄勝郡総合防災訓練が東成瀬村を会場に行われ、議員が参観しました。

今回の訓練は、村内5カ所の会場で情報活動・消火・救助・避難誘導・救護活動等を実施する総合的、実践的な内容でした。

郡市総合防災訓練

10月8日

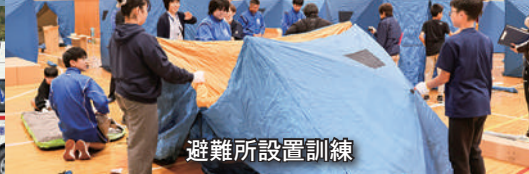


災害対策本部設置訓練



救助訓練

多数傷病者救急救護訓練



避難所設置訓練



山林火災防ぎょ・クマ出没対応訓練

暫時 休憩

さんじ

きゆうけい

▼奥羽山脈の色づきが深まり、田んぼにはコンバインの深い足跡が見られ、天候不順の中での収穫作業の大変さを物語っています。

▼元気の「氣」の原形である「氣」には米が使われています。新米の恵みは活力となり、一段と食を豊かにしてくれます。食味に優れた東成瀬産米ならではの深い味わいです。

▼今では稲のハセ掛けの光景は少なくなりました。かつては紅葉の山並みと並ぶ秋の風物詩として、学校行事の写生大会が行われていました。私が小学生だった昭和45年10月16日の大会では東成瀬地震(秋田県南東部地震)に見舞われ、その体験もこの季節になるとふと思い返されます。後生へ伝えたい出来事であり、災害への備えを一層意識したい時期でもあります。(委員・佐藤 仁)

夢に向かって羽ばたけ！ なるせつ子

No.23

高校生にインタビュー！



たいら やまと
平良 大和 さん (平良)

湯沢翔北高校3年生

好きなこと・趣味：

スポーツ観戦
バスケットボール

あなたにとって、東成瀬村といえば？

友達や地域の人たちが優しく接してくれてとても過ごしやすい村だと思います。今までのいろいろな思い出がつまっているところです。

将来、どんな仕事を目指していますか？どんな大人になりたいですか？

人に感謝される、ものづくりの仕事をしたいと思っています。また、新しい環境でもいろいろなことに挑戦し続ける大人になりたいです。

10年後の東成瀬村を想像し、どんな村になっていたら嬉しいですか？

東成瀬の豊かな自然を生かして観光客が増えたらいいなと思います。人が減ってきているので活気ある村になったらいいなと思います。

友だち・家族へメッセージを！

家族・・・たくさん支えてもらっています。いつもありがとうございます。

友達・・・またいつかみんなで集まって遊びたい！



今号の
ベスト
shot



9/29 小学校稲刈り体験

岩井川地区
山ぼうしの皆さん

縁の下のちから



力持ち



地域ボランティア団体「山ぼうし」は地域交流センター「ゆるるん」で18年間にわたり喫茶コーナーを開設。

現在は14名の会員が週3日午前に交代で住民の憩いの場を支えています。



利用者がこんなに！

東成瀬村

議会だより

令和8年10月20日発行

No.227

■発行 東成瀬村議会

■編集 東成瀬村議会広報対策特別委員会

〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙入下30-1

TEL 0182(47)3411 FAX 0182(47)3117 e-mail gikai@vill.higashinaruse.akita.jp

印刷/株式会社 アイ・クリエイト